

2022 年度  
東京都立大学大学院 都市環境科学研究科  
都市政策科学域 選抜試験（夏季）  
博士前期課程（一般・社会人）（4月入学）

科目 <小論文>

時間 10:00～12:00

注意事項：

- ①解答は、配布された答案用紙に行うこと。不足した場合は、手を挙げて申し出て下さい。
- ②答案用紙の「学修番号」欄に「受験番号」を、「氏名」欄に「氏名」を記入してください。
- ③監督者の指示があるまで問題冊子は開かないでください（その他、監督者の指示に従うこと）。

受験番号	一般・社会人	氏名
------	--------	----

以下の文章を読み、次の（１）～（３）に答えなさい。

①これまでの情報社会（Society 4.0）では知識や情報が共有されず、分野横断的な連携が不十分であるという問題がありました。人が行う能力に限界があるため、あふれる情報から必要な情報を見つけて分析する作業が負担であったり、年齢や障害などによる労働や行動範囲に制約がありました。また、少子高齢化や地方の過疎化などの課題に対して様々な制約があり、十分に対応することが困難でした。

②Society 5.0で実現する社会は、IoT（Internet of Things）で全ての人とモノがつながり、様々な知識や情報が共有され、今までにない新たな価値を生み出すことで、これらの課題や困難を克服します。また、人工知能（AI）により、必要な情報が必要な時に提供されるようになり、ロボットや自動走行車などの技術で、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの課題が克服されます。社会の変革（イノベーション）を通じて、これまでの閉塞感を打破し、希望の持てる社会、世代を超えて互いに尊重し合あえる社会、一人一人が快適で活躍できる社会となります。

出典：内閣府 web ページ [https://www8.cao.go.jp/cstp/society5\\_0/](https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/) より抜粋（2021年5月21日閲覧）

（１）下線部①における問題や制約が関連すると考えられる社会的課題にはどのようなものがあるか。具体的な例をひとつ挙げて説明しなさい。自分の専門分野に引き付けて考えてよい。

（２）（１）の課題に対して、下線②の視点からどのような具体的な対応策が有効か。あなたの提案を説明しなさい。その際には、手段や場面等について具体的に述べなさい。

（３）（２）の対応策を実施する場合、都市政策の観点（政策の主体・対象・実施体制等）から特に重要と考えられる点は何か。あなたの考えを論じなさい。